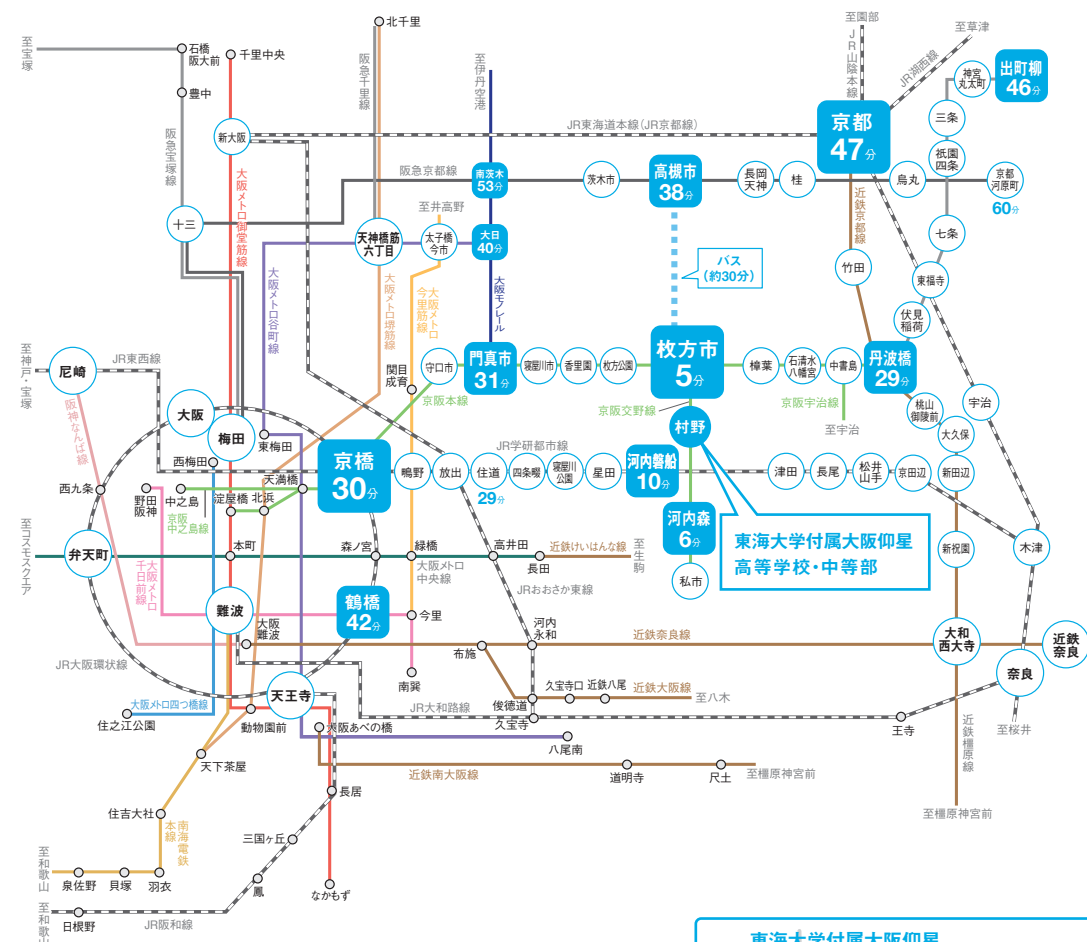
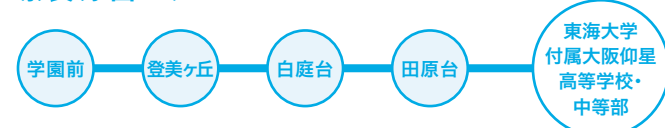


ACCESS MAP | 村野駅までの所要時間をチェックしよう！



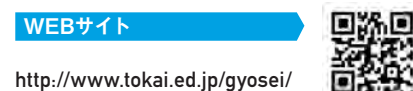
奈良方面スクールバス



Member's Book & Admissions Guide 2022



チームにたのびよう。



<http://www.tokai.ed.jp/gyosei/>



<https://www.youtube.com/channel/UCsdN5zUfy5r0m34JPYMDLdg>



@team_gyosei



<https://www.facebook.com/teamgyosei/>



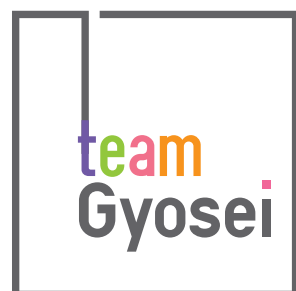
東海大学付属大阪仰星高等学校

〒573-0018 大阪府枚方市桜丘町60-1
TEL:072-849-7211 FAX:072-849-0246





持続可能な
チームをめざして。



「team Gyosei」とは、仰星に関わるすべての人のこと。まるで一つのチームのような学校です。

チームのつながりは同級生、先輩、後輩、先生、地域の人、留学生と、年齢を超え、学校の枠を越えて広がっています。多様な価値観を吸収して互いに高め合うような、人と人とのつながりを広げていくことで社会とともに成長し続ける「team Gyosei」をめざしています。

INDEX

03 広がるteam Gyosei
09 team Gyoseiの学び
11 探究学習
13 GLOBAL教育
15 教育のICT化
17 クラブ活動 / スクールイベント

19 英数特進コース
21 総合進学コース
23 スクールライフ / ラーニングマップ
25 Gyosei LIFE!
27 チームを感じる瞬間
29 PEOPLE of GYOSEI

31 教育の指針 / 東海大学との連携
32 進学実績
33 入試情報
34 CAMPUS MAP /
校長からのMESSAGE

行事はもちろん、普段の学校生活の中に 「team Gyosei」を感じる瞬間がある

—仰星の学校の雰囲気について

本田：高校入学当初は知り合いが一人もいなくて不安でしたが、仰星は優しくてフレンドリーな人ばかりで、先輩・後輩問わず、すぐに仲良くなれました。

小林：僕の在学当時から、仰星のそういう雰囲気は変わっていないですね。生徒同士はもちろん、先生とも気兼ねなく話すことができました。ちょうど在学中に職員室が改装され、扉がガラスの自動ドアになりました。生徒が職員室に入るのは結構ハードルが高いと思いますが、中が見やすくなったことで生徒の出入りが増えました。

本田：確かに入りやすいかもしれません。やはり少しは緊張しますが…。部室の鍵を取りに行ったり、授業でわからないことがあればよく質問に行ったりしています。

小林：一方で、親しい中でも礼儀やマナーをちゃんと持って接することができる生徒が増えたと思います。

本田：誰にでも元氣よく挨拶できる人が多いところが仰星の特長ですよ。普段関わることがない先生が廊下ですれ違ったときに声をかけてくれたり、初対面の人でも私が困っていたら助けてくれたりします。

小林：クラスや学年の分け隔てなく関わることが多いです。先生たちがクラブ活動の大会の結果に詳しくて授業で話してくれたり、みんなで応援に行ったり、そういうのが今も変わらず楽しいです。

—仰星の学びについて

小林：在学当時から大きく変わっていることといえば、ICTでしょうか。教室にスクリーンがあり、生徒も先生も一人一台タブレットを持っています。4月にオープンしたメディアセンターのラーニングコモンズには、プロジェクタ付きのホワイトボードがあって、生徒が主体的・能動的に学ぶための設備が充実しています。

本田：家に帰ってからもロイロノート※があれば、授業でわからなかったことを質問することができます。また、授業中にタブレットを使ってすぐに調べ物をできるので便利です。

小林：変わっていないことといえば、仰星独自の体操があります。ちょっと変わった動きがあったりして懐かしかったです。

本田：体育で毎時間あの体操をするので、みんな動きが体に染みついてますね。

※生徒と先生のコミュニケーションを促す授業支援アプリ

—これからの目標について

本田：ソフトボール部の大会でベスト8に入ることです。コロナでクラブ活動ができない期間中も、素振り練習をしたりチームメイトとビデオ通話したりして、士気を高めることを心掛けています。また、高校3年生になり、受験に向けて勉強も頑張っています。

小林：いつも生徒に言っているのは、「ノーベル賞をとる生徒を輩出する」ということです。ノーベル賞というのは社会を変える人のわかりやすい例えなのですが、生徒が何かに気づき、変わるきっかけづくりを、教育を通してできればと思います。

本田 明華

総合進学コース〈高校3年生〉

小林 惇史 | 教諭

総合進学コース〈2005年度卒〉

クラスや学年を越えて広がる team Gyosei

一人ひとりの夢や目標によって、さまざまな学校生活の過ごし方があります。
その中で多くの人と関わり、生徒自身の足で成長していきます。

■ 在校生同士のつながり

中高合同の取り組みが多くある本校では、授業やクラブ活動、行事など、活動によって関わる人はさまざまです。それぞれのチームで自分自身の役割を考えて立ち振る舞う中で、目標に向かって仲間と協働する姿勢を身につけます。また、高い目標を掲げてひたむきに努力する仲間との出会いが、より高みに向かう原動力になっています。



■ 教職員とのつながり

ともに学校生活を送るチームの一員として、身近な存在である教職員は、普段の授業はもちろん、個別の質問や自学自習もしっかりサポート。日頃からコミュニケーションを心がけ、生徒との関係をしっかりと築いています。また、教職員同士の団結も固く、生徒一人ひとりの学校生活を幅広くケアしています。



■ 卒業生とのつながり

卒業後も生徒同士、生徒と教員の関係が長く続くことが本校の特長の一つ。キャリア教育の一貫として卒業生による講演の開催や、クラブ活動での練習のサポート・応援など、生徒の活躍を支える取り組みがあります。卒業生とのつながりを通して、自身の将来や社会とのつながりを感じるきっかけにもなっています。



世界に広がる team Gyosei

OB MESSAGE

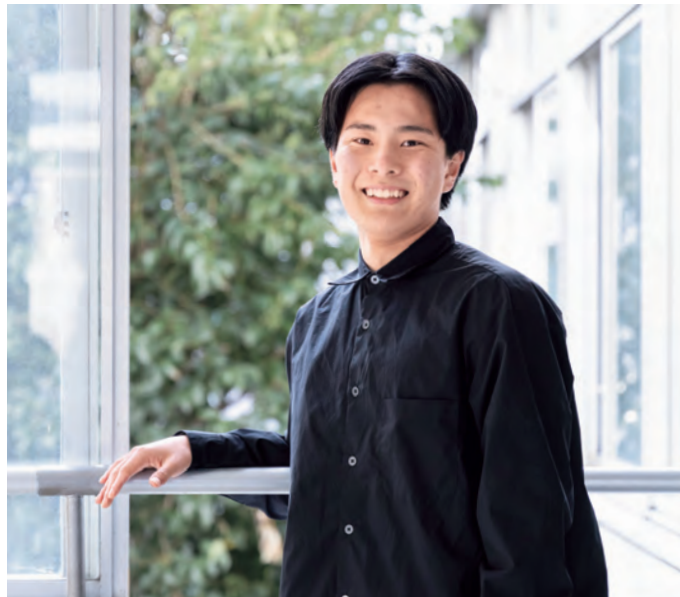
やると決めたらやる。その強い意志が
海外大学への進学を実現

University of Otago

時任 悠生

英数特進コース〈2020年度卒業〉

海外への進学を決めたのは高校3年生の初めでした。ただ英語を覚えるのではなく、外国に身を置いて学問を学び、さまざまな文化や価値観を知りたいと思い決断しました。英語が得意なわけではありませんでしたが、入試に向けて目標を立て、そのために必要なことを考え、努力を重ねました。ネイティブの先生にスピーキングの練習や英文の添削をしてもらったり、海外の高校生とオンラインで意見交換したり、英語のスキルを伸ばせる環境も大いに活用しました。これからたくさんの方の英語を学び成長していくことで、将来の選択肢が広がると思うととても楽しみです。



OB MESSAGE

日本語が通じない環境で感じた
人を動かす言葉の力

溝渕 悠乃

総合進学コース〈2020年度卒業〉

高校2年生のとき、オーストラリアへの海外研修に参加しました。日本の基準が一切通用しない地で、必死に言葉を伝える努力をしたことを覚えています。そんな中、ホストファミリーに言われた「これから先、他の誰かと影響し合って生きていくうえで、この経験はきっと支えになる」という言葉が今も心に残っています。研修先でもらった言葉のように、周りの人に良い影響をもたらせるような人になりたいです。



世界とのつながり

English Café

海外からの留学生や外国人の先生と、国際交流委員やEnglish Clubによる月1回の定例会です。留学を体験した生徒も参加し、飲食をともにしながら、各国の文化やイベントなど、さまざまなテーマについて英語で情報交換します。



留学生対象シンポジウム

在阪留学生を本校に招き、日本で感じた驚きや不思議、日本で生活するうえで大切だと思っていることを話してもらい、本校の生徒と英語で意見交換をします。シンポジウムのあとは書道教室やたこ焼きパーティーで楽しく盛り上がります。



地域・社会とのつながり

学童保育ラグビー教室(ラグビー部)

近隣の留守家庭児童会の児童たちとの交流会を開催。「参加者の皆さんに楽しんでいただく」をテーマに指導案を作成し、約1時間のレクリエーションを実施しました。年代を越えた交流は、目配り・気配り・心配り・思いやりの成長を促進し、人としての大きな成長につながりました。



Halloween Party(English Club主催)

近隣の小学生の皆さんを招待して、一緒にハロウィンに関する英語表現を学び、ゲームを楽しみます。2019年度より始めたこの行事を毎年心待ちにしてくれている方も多くいます。地域の小学生の皆さんに役立つような英語学習活動を今後も実施していきます。



OB MESSAGE

仰星で育んだ相手を思いやる姿勢が
営業マンとしての原点

仰星での個性豊かな仲間との関わりや、ラグビーを通して培った、お互いの価値観を認めて接する力や目標から逆算して考える力は、働くうえでの強みとなっています。心がけているのはただ商品を提供するだけではなく、お客様が抱えている問題と向き合い、一人ひとりにあった解決策を、商品を通してご提案すること。長く寄り添える仕事にやりがいを感じています。今後もつながりを大切に、ひとりでも多くのお客様の役に立てよう自己研鑽に励んでいきます。

プルデンシャル生命保険 株式会社 大阪第二支社 勤務
寺前 和太

総合進学コース〈2009年度卒業〉

team Gyosei for SDGs

本校は東海大学の付属校として「建学の精神」に基づき「真の文武両道」を体現する学校をめざしてきました。その中で培ってきた実績やteam Gyoseiの考えのもと、近年は持続可能な社会実現の担い手の育成に注力しています。世界の課題を「自分ごと」として捉え、生徒自らチャレンジする姿勢を育む教育を実践していきます。



SDGsについて

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された、世界で取り組む持続可能な開発目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。



■ SDGs推進グループ「GAfSS」 (Gyosei's Action for Sustainable Society)



中等部・高等学校が一体となってSDGs活動を推進するために結成されたグループです。現在の活動の一例としては、枚方市の環境推進室とともにゴミ削減のプロジェクトを模索したり、近辺の河川の清掃運動に取り組んだりしています。その他、今後もさまざまなSDGs活動に挑戦していきます。さあ、皆さんも一緒に活動しませんか？地球市民としての自覚が芽生えるとともに、貴重で実践的、かつ将来に直結する経験を得ることができます。



■ SDGs学習

現代社会などの教科学習でSDGsの知見を深めるほか、1年次「現代文明論」や2年次「総合的な探究の時間」を通し、NPO法人主催の「江の島ビーチクリーン&マイクロプラスチックアート」といったプロジェクト体験の参加や、企業のSDGs推進に関する調べ学習を行うなど、SDGsの実践に触れ、世界の諸問題への関心を深めることをめざしています。



■ 生涯スポーツ

生涯に通じるスポーツへの関わり方やライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を学んでいます。実技と講義を組み合わせ、知識を知恵に昇華することで、生きた学問として人生に活かすことを目標にしています。



team Gyoseiの学び

一人ひとりが自分の目標に向かって成長できるこの場所で、
すべての活動を通じて新しい学びや出会いがあります。

team Gyosei 育てたい人物像 — team Gyosei Diploma Policy —

自主性・行動力を持った人物

持続可能な社会の実現に向けて自分に何ができるかを自主的に考え、それを行動に移すことができる。

グローバルな視野を持った人物

現在の世界の状況について広く正しい知識を持ち、グローバルな視野に基づいて、ローカルな活動に積極的に関わることができる。

課題発見・解決力を持った人物

身につけた知識・技能を応用し、自ら課題を発見、それを解決につなげることができる。

多様性を受容できる人物

他者のさまざまな考え方や生き方、文化・立場の違いを理解して受け入れ、ともに協力して活動ができる。

team Gyoseiで身につける

10のチカラ

詳しくはこちら▶



目標や個性に応じて

一人ひとり過ごし方の異なる学校生活において、
あらゆる活動を通じて生徒に身につけてほしい

10のチカラを設定しています。

多様で変化の激しい社会を力強く生き抜くための力を養います。



自分で学ぶ チカラ

確かな知識や学力を身につけ、自己実現に向けて活用していきます。



健やかに生きる チカラ

豊かな感受性と健全な心身を養います。



社会を認識する チカラ

社会を認識し、持続可能な社会の実現に向けた課題を正しく理解します。



批判的に考える チカラ

目の前の事柄をよく理解して、多面的・論理的に考えます。



自分を管理する チカラ

自分を取り巻く状況を俯瞰的に捉え、計画的に行動します。



コミュニケーション するチカラ

他者と互いに理解を深め、円滑な人間関係を構築します。



創造的に表現する チカラ

知識や情報を活用し、自分の考えを創造的に表現します。



協働する チカラ

個人の役割を理解し、チームとして責任感をもって行動します。



貫徹する チカラ

設定した目標に向けて、最後まで粘り強く取り組みます。



課題を解決する チカラ

課題解決に向けて論理的に手段を考え、実行・検証します。

Students' VOICE



奥田 悠月
英数特進コース(高校2年生)

悩んでいると話を聞いてくれたり、一緒にたくさん笑って元気をくれたりする友だちの存在が私の支えになっています。勉強とクラブ活動の両立で心がけているのは、無理をしすぎないこと。忙しいときは時間を区切ることで集中できるよう工夫し、毎日コツコツ取り組んでいます。



中島 朱里
総合進学コース(高校2年生)

レベルの高い真の文武両道をめざし、クラブ活動も勉強も限られた時間で質を高められるように常に考えて行動しています。高い目標を持ち、たゆまぬ努力をする先輩や友だちの姿から刺激を受けることが多く、切磋琢磨し合える仲間たちが仰星にはたくさんいます。

探究学習



1年次 基礎探究

～探究スキルの基礎を身につける～

1年次に実施する「基礎探究」は、自分の興味・関心について深く考察し、探究学習をするうえで必須の基礎スキルを学びます。深く考察していく過程の中で、疑問に思ったことについて答えを導きだそうとする探究活動を行います。それらを通して、問いを立てる力、情報を収集・分析する力、まとめ・表現する力、考えを深掘りする力などを養っていくことをめざしていきます。

2年次 発展探究

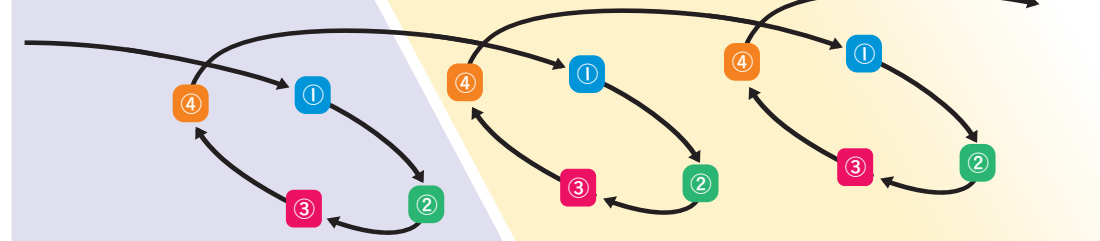
～ゼミ活動を通じて個人テーマをより深く探究する～

2年次に実施する「発展探究」は、自らが決めた個人テーマに沿ってゼミに所属し、さらに深い探究活動を行います。ゼミ活動によって、他者から自分の探究活動をフィードバックしてもらうので、自らの疑問や仮説の見直しにつながります。質の高い探究活動を行い、最終的には論文作成を通して文章にまとめる力などを養成することをめざしていきます。

- ① 課題設定
- ② 情報収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

基礎探究(グループ活動)

発展探究(個人活動)



想像を超える創造

まだ見たことのない知の先へ

学習指導要領の改訂に伴い、2022年度より「総合的な探究の時間」の授業が本格的に実施されます。

この授業においては、自分にとって身近な事柄から疑問や問題を見つけ、解決しようとする姿勢を持つことが求められます。

本校ではこれを生涯にわたる学びの核として捉え、次の理念をもとに探究活動を行います。

探究の理念

1

自らの気づきや
対話を通して、
物事に対する視野が
広がることに気づく



2

役立つことにとらわれず、
自らの興味を
追究する力を身につける



3

わからないことに
立ち向かい、
考え抜く過程を楽しむ



現代社会では問題をより多く解決する能力以上に、あらゆることに疑問を持ち、それを自らの問いとして言語化する能力が重要です。

これからのAI時代を生きるうえで、大切な能力のひとつとなるでしょう。

探究活動を通して自分が知らないことに気づき、知りたいという意欲が芽生えることで、

自分が想像していた以上の新たなものを創り出すことにつながります。

それは、豊かな人生を送るうえで欠かせない深い学びとなります。

グループワーク(課題設定)の様子



TG10Cs
Challenge 2

さまざまな文化や価値観から多角的な視点を学ぶ

GLOBAL教育



01

海外研修

02

海外留学

03

留学生
受け入れ

GLOBAL教育の3つの柱

本校では「海外研修」「海外からの留学生受け入れ」「海外留学」を3つの柱とした国際交流活動を進めています。最近では、オンライン環境を利用した海外校との交流や、海外の高校生を対象とした日本語教室を実施しています。実体験を通して国際協調の意義を理解し、想定外の課題にも臆することなく取り組み、解決しようとする柔軟で強靱な適応力を身につけ、将来国際社会で活躍できるチカラの育成をめざします。

01 研修旅行・海外研修



2年次

研修旅行 3月初旬

「総合的な探究の時間」の一貫として自由に行き先を選ぶことができます。

希望者向けの研修旅行

教員の引率付きの交流・語学研修を実施しています。

シンガポールSDGs 研修

8月下旬(7日間)

トロント(カナダ) 研修

10月下旬(7日間)

研修先:

Royal St. George's College

クイーンズランド
(オーストラリア) 語学研修

1月中旬(7日間)

研修先: Bond University



沖縄本島・石垣島コース(4泊5日)



ブラハ・ウィーンコース(6泊7日)



オーストラリアコース(6泊7日)



ハワイコース(5泊6日)

02 海外留学



希望者向けの留学プログラムです。

留学期間中の授業は公欠扱いとなり、欠席にはなりません。

クイーンズランド(オーストラリア)3ヶ月留学(7月下旬)

期間:3ヶ月 / 語学学校・ホームステイ

夏休み3週間北米・豪プラン(7月下旬)

期間:3週間 / 語学学校・ホームステイ

オークランド(ニュージーランド)3ヶ月・6ヶ月留学(1月中旬)

期間:3ヶ月・6ヶ月 / 語学学校+現地校・ホームステイ

トロント(カナダ)留学(9月初旬)

期間:1ヶ月・2ヶ月・3ヶ月 / 現地校・ホームステイ

ベイエリア・インターンシップ(7月中旬)

期間:2週間・3週間・4週間 / 現地企業・個人商店等・ホームステイ

クイーンズランド(オーストラリア)3ヶ月語学留学(1月中旬)

期間:3ヶ月 / Bond University・ホームステイ

03 留学生受け入れ

▶ 受け入れ実績(2016～2020年度)

アメリカ(6名)・オーストラリア(3名)・ドイツ(2名)・エストニア、カナダ、デンマーク、ニュージーランド、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、韓国、タイ(各国から1名)

海外から研修旅行で来日している学校が
本校を訪問し交流する機会もあります。

例: Royal St. George's College (カナダ)、
SMJK CHONG HWA校/SMK TIARA PERMAI校(マレーシア)

国際交流委員会
(Global Linkage Student Council)

海外からの留学生や本校を訪問する海外校の生徒との交流を中心に、海外交流プロジェクトを支援してくれる生徒たちの組織です。

TG10Cs
Challenge 3

持続可能かつ高度な教育環境

教育のICT化



高度な学びを実現するICTの活用

本校では、教育のICT化を「主体的・対話的で深い学びを実現する」「高度情報化社会で力強く活躍する」生徒を育成することを目標として進めています。自宅学習や連絡事項のやりとりはもちろん、アクティブラーニング等では情報収集やコミュニケーションを円滑にすることで、より発展的な学習に活用しています。

POINT 1

01 05

自主学習
習慣の定着

充実した教育ネットワークを活用し、生徒は家庭等の教室以外の場所において多種多様なオンライン教材にアクセス。「自分のペースで」「わかるまで繰り返し」学習する環境が整っています。

POINT 2

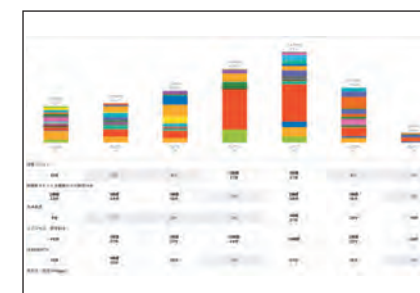
06 08

双方向の
コミュニケーションを活発に

生徒も教員も全員iPadを所持しており、担任・教科担当・クラブ顧問といつでも1対1でコミュニケーションをとることができます。Zoomによるミーティングも活発に行われるようになってきています。

POINT 3

05 09

家庭学習を
有意義に

オンライン教材の充実を図るとともに、毎日の家庭学習を記録することで、生徒の家庭学習状況を把握しています。先生から生徒にコメントや励ましのメッセージを送信することもあります。

授業支援ソフト「Classi」の導入

▶ 面談

ベネッセ系模試の結果を生徒・保護者・教員で共有します。

▶ 連絡

授業プリント等の配信・共有や保護者向けのプリント等を配信。保護者はいつでもどこでもチェックできます。

▶ 授業

『Webテスト』で授業前後に小テストを実施し教員・生徒の双方が理解度をチェックしています。

▶ 自主学習

ベネッセ系模試と連動したデジタル教材を利用し、弱点問題の復習を行います。自分にあった復習課題が配信され、理解度アップ。『学習動画』で定期試験前に弱点単元を再確認できます。

授業支援ソフト

「ロイロノート」の
導入

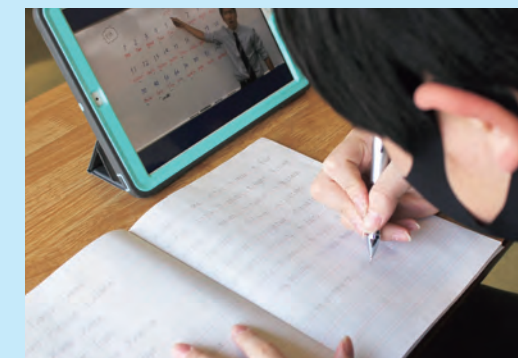
授業支援アプリ「ロイロノート」を導入しています。生徒と先生のコミュニケーションを活性化させ、生徒が主体的に自分の考えを表現・発表する機会を創出する能力を育みます。

Pick Up

緊急事態宣言下における本校の取り組み

2020年春、緊急事態宣言下の休校中に、教員たちは動画編集を駆使してオンデマンド授業を展開。生徒たちは自宅にしながら学習を維持することができました。教員の入念なチェックや指導のもと、一生懸命にノート作成や音読課題等の家庭学習に励み、学校再開後はディスカッション・スピーチ活動といった主体的な学びに取り組みました。

- ①課題設定：休校期間中の生活課題の洗い出し
- ②情報収集：改善方法のリサーチ
- ③整理分析：実生活への取り入れ
- ④表現まとめ：学年発表



TG10Cs Challenge 4

仲間とともに目標に進む

クラブ活動



SPORTS

ラグビー部	陸上競技部	チアリーディング・バントワリング部
サッカー部	卓球部	ゴルフ部
野球部	女子バレーボール部	女子ソフトボール部
剣道部	女子ソフトテニス部	女子バスケットボール部
柔道部	男子ソフトテニス部	男子バスケットボール部
空手道部	水泳部 (外部スイミングクラブと提携)	軟式野球同好会
		硬式テニス同好会

CULTURE

放送部	家庭科部
吹奏楽部	かるた部
写真部	演劇部
茶華道部	囲碁将棋同好会
科学部	数理研究同好会
English Club	Popular Song同好会
美術・イラスト部	

TG10Cs Challenge 5

学生生活を彩るチームの団結

スクールイベント



創作ダンス発表会

高校現代文明論研修の旅

校外学習

星河祭(文化の部)

マラソン大会

星河祭(体育の部)

4

April

新入生オリエンテーション
入学式
二者面談

8

August

東海大学学園オリンピック

12

December

三者面談

5

May

球技大会
生徒総会
音楽鑑賞会

9

September

星河祭(体育の部・文化の部)

1

January

合唱コンクール(1年)

6

June

前期人権教育行事
校外学習

10

October

後期開始式
後期人権教育行事

2

February

創作ダンス発表会(1・2年女子)

7

July

三者面談

11

November

建学記念式典
高校現代文明論研修の旅(1年)
マラソン大会

3

March

卒業式
研修旅行



英数特進コース

難関国公立・私立大学および
東海大学医学部への進学をめざす



難関大学進学にチャレンジするハイレベルコース

難関国公立・私立大学および東海大学医学部をめざすコースです。
早期に英・数・国の高校課程を終え、大学入学共通テスト対策や個別学力試験対策を行います。

●コースの特徴

1 自律的でハイレベルな学習サイクル

ICT機器を活用した新しいスタイルの家庭学習と、それをベースにしたアクティブ・ラーニング型授業を展開します。また、習熟度別授業や特別講座等、個々の学力に応じたフォローアップも充実しており、これらを通じて難関大学進学へ向けて確かな学力を養成します。

2 特別講座

放課後および長期休暇期間中に各種特別講座を実施、大学入試に向けた実戦的演習を通じて、さらなる実力を養成します(希望制)。

3 習熟度別授業

英語・数学では生徒の学習到達度に合わせた少人数制習熟度別授業を行い、一人ひとりの力をより効果的に伸ばす授業を実践します。

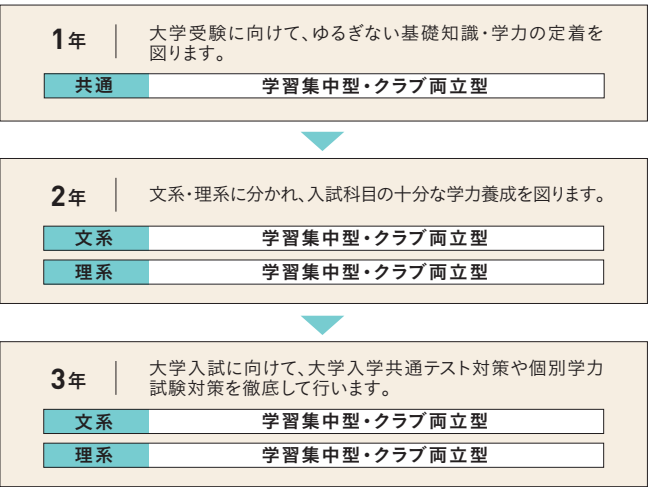
●定員 40名

●時間割(高校1年)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	英コミI	公共	数学IA	論理・表現	英コミI	生物基礎
2	現代の国語	言語文化	英コミI	物理基礎	体育	数学IA
3	数学IA	化学基礎	言語文化	数学IA	公共	英コミI
4	歴史総合	体育	論理・表現	音楽I	化学基礎	言語文化
5	物理基礎	数学IA	生物基礎	現代の国語	数学IA	
6	音楽I	論理・表現	基礎探究	LHR	歴史総合	
7	保健	SC	基礎探究			
8	SC		SC	自習室解放 19:00		17:00

SC:大学入試対策特別講座(希望制) ※カリキュラムは変更する可能性があります。

●教育の流れ



放課後の時間の使い方は自分で決める！

PICK UP!

「もっと学習に取り組みたい」「課外活動と両立させたい」をどちらも満たすコースです。

□学習集中型

放課後に開講される大学入試対策特別講座(90分)に参加し、さらなる応用力を養成し、一般選抜での難関大学合格をめざします。

□クラブ両立型

クラブ活動・生徒会活動等の課外活動に積極的に参加し、高いレベルでの文武両道をめざします。充実した活動履歴をもとに、国公立大学の総合型選抜入試も視野に入れます。

□自習室の開放(全コース)

メディアセンター内に自習室を設置、自主学習を行う場を提供し、学力向上を図ります。



●カリキュラム

単位数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
Ⅰ年生		現代の国語			言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ			数学A		物理基礎		生物基礎		英語コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ			体育		保健		音楽Ⅰ		情報Ⅰ		文明論		探究		HR
文系	2年生	論理国語		文学国語		古典探究		日本史探究			公共		数学Ⅱ			数学B		化学基礎		英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ			体育		保健		家庭基礎		探究		HR			
					世界史探究																																
	3年生	論理国語		文学国語		古典探究			日本史探究			社会科科目*			数学演習		生物基礎		化学基礎		英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ			体育		HR								
					世界史探究					英語演習					生物																						
理系	2年生	論理国語		古典探究			公共		数学Ⅱ			数学B		化学基礎		化学		物理		英語コミュニケーションⅡ			論理・表現Ⅱ			体育		保健		家庭基礎		探究		HR			
														生物																							
	3年生	論理国語		古典探究		社会科科目*		数学Ⅲ			数学C			化学			物理			英語コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ			体育		HR									
		英語演習			数学演習												生物																				

*大学入試科目発表により科目が変更になる可能性があります。※カリキュラムは変更する可能性があります。



総合進学コース

東海大学および難関・人気私立大学への進学をめざす



課外活動と人気私大の現役合格を両立するコース

東海大学および他の難関・人気私立大学への進学をめざすコースです。
クラブ活動・学校行事・自主活動などへも積極的に取り組み、文武両道の実践をサポートします。

●コースの特徴

1 本格的な探究授業を通じて獲得する「本当の学びの意味」

1年次の基礎探究、2年次の発展探究(ゼミ活動)を通じて、学習することの意味を知り、将来の自分の姿を具体的にイメージすることで、日々の学習活動におけるモチベーションアップにつなげます。

2 学力に応じたクラス編成

2・3年次には、学力に応じたクラス編成を行い、一人ひとりのレベルに合った授業を展開します。また、放課後のフォローアップ講座で基礎学力の定着を図ります。

3 特別講座

長期休暇期間中に特別講座を実施、入試科目の演習を通じて、応用力を養成します(希望制)。

●定員 160名

●時間割(高校1年)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	歴史総合	体育	言語文化	数学IA	公共	英コミI
2	物理基礎	数学IA	論理・表現	音楽I	化学基礎	言語文化
3	音楽I	論理・表現	生物基礎	現代の国語	数学IA	生物基礎
4	保健	公共	数学IA	論理・表現	歴史総合	数学IA
5	英コミI	言語文化	英コミI	物理基礎	英コミI	
6	現代の国語	化学基礎	基礎探究	LHR	体育	
7	数学IA	FU	基礎探究	FU	FU	
自習室解放 19:00						17:00

FU:フォローアップ講座 ※カリキュラムは変更する可能性があります。

●教育の流れ

1年

大学受験に向けての知識・基礎的な学力の定着を図ります。

共通カリキュラム

2年

3年

文系・理系に分かれるとともに、学力に応じたクラス編成を行い、難関私立大学進学に向けたハイレベルな学習を行う「αクラス」を設置します。
また、その他のクラスでは基礎学力定着に向けて、きめ細やかなフォローアップを行います。

難関私立大型(αクラス)

文系

理系

難関私立大学をめざす生徒を中心としたクラス

私立大型

文系

理系

東海大学や他の私立大学をめざす生徒を中心としたクラス

●カリキュラム

単位数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1年生		現代の 国語	言語文化			地理 総合		歴史 総合		数学Ⅰ			数学A		物理 基礎		生物 基礎		英語コミュニ ケーションⅠ			論理・表現Ⅰ			体育		保健		音楽Ⅰ		情報Ⅰ		文明 論	探究	HR		
文系	2年生	論理 国語	文学 国語		古典探究		日本史探究			公共		数学Ⅱ			化学 基礎		英語コミュニ ケーションⅡ			論理・表現Ⅱ			体育		保健		家庭 基礎		探究	HR							
	3年生	論理 国語	文学 国語		古典探究		日本史探究			政治 経済		生物 演習		英語コミュニ ケーションⅢ			論理・表現Ⅲ			資格英語 数学演習		体育		生涯 スポーツ		音楽Ⅱ		美術Ⅰ	HR								
理系	2年生	発展 国語	公共		数学Ⅱ			数学B		化学 基礎		化学		物理 生物		英語コミュニ ケーションⅡ			論理・表現Ⅱ			体育		保健		家庭 基礎		探究	HR								
	3年生	発展 国語	数学Ⅲ				数学C			数学 演習		化学			物理 生物		英語コミュニ ケーションⅢ			論理・表現Ⅲ			体育		音楽Ⅱ		美術Ⅰ	HR									

※カリキュラムは変更する可能性があります。



スクールライフマップ

学校生活で何を経験して
どんなチカラを身につけるのかを可視化。

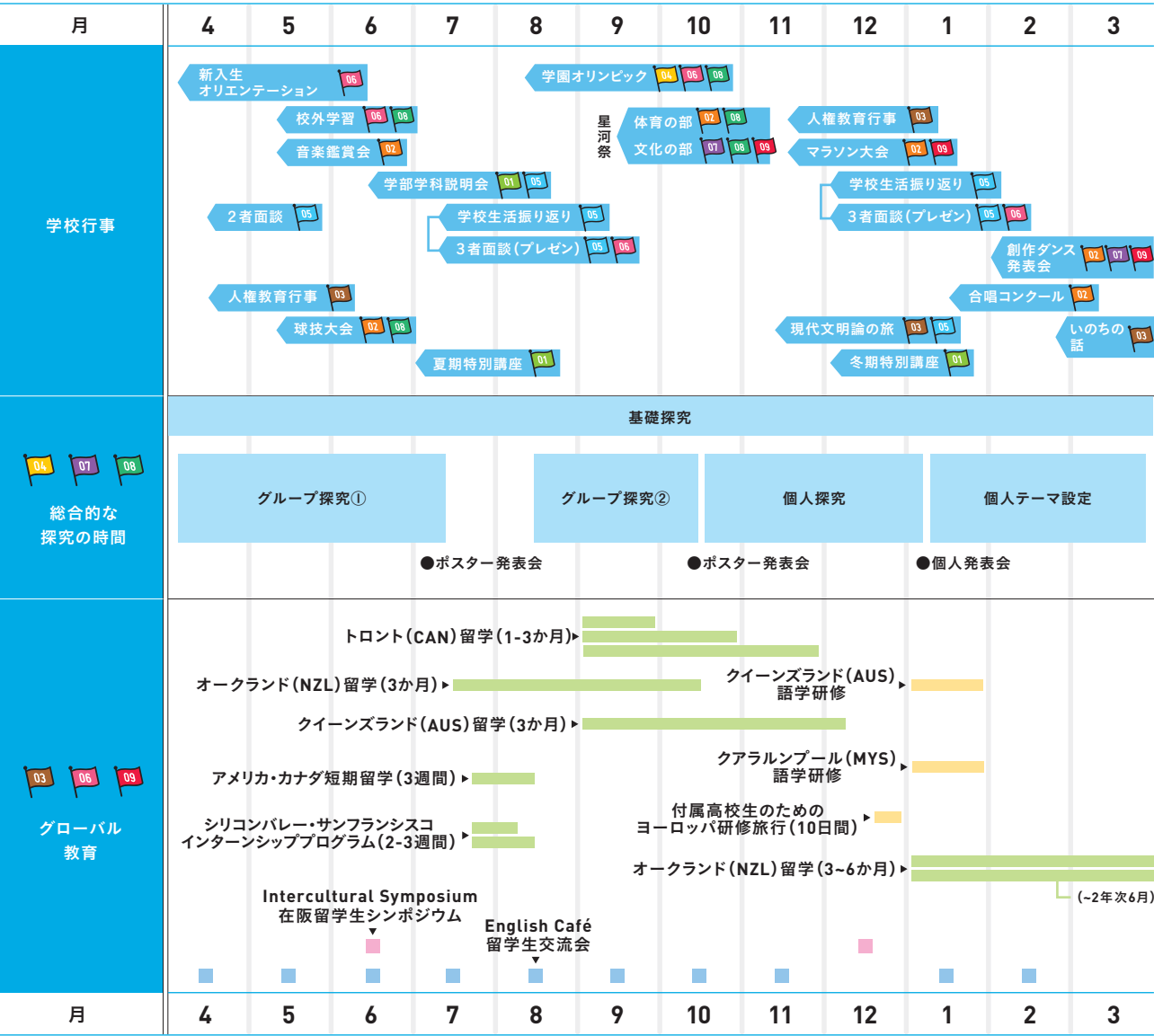
ラーニングマップ

1年間の学習活動を可視化。
3年先の次のステップへ向けて、確かな学力・知識を計画的に養います。

学習・
進路目標

- 基礎・基本の理解と定着
- クラブ活動と両立した生活・学習リズムの確立
- 自分のキャリアの方向性・文理適性の見極め
- 学部学科の内容・入試制度に関する理解
- SDGsに関する正しい理解

● 高校1年生のスクールライフマップ



学習活動のポイント

課外活動における人間力養成
クラブ活動・生徒会活動など、課外活動への積極的な参加を通じた、総合的な人間力の養成

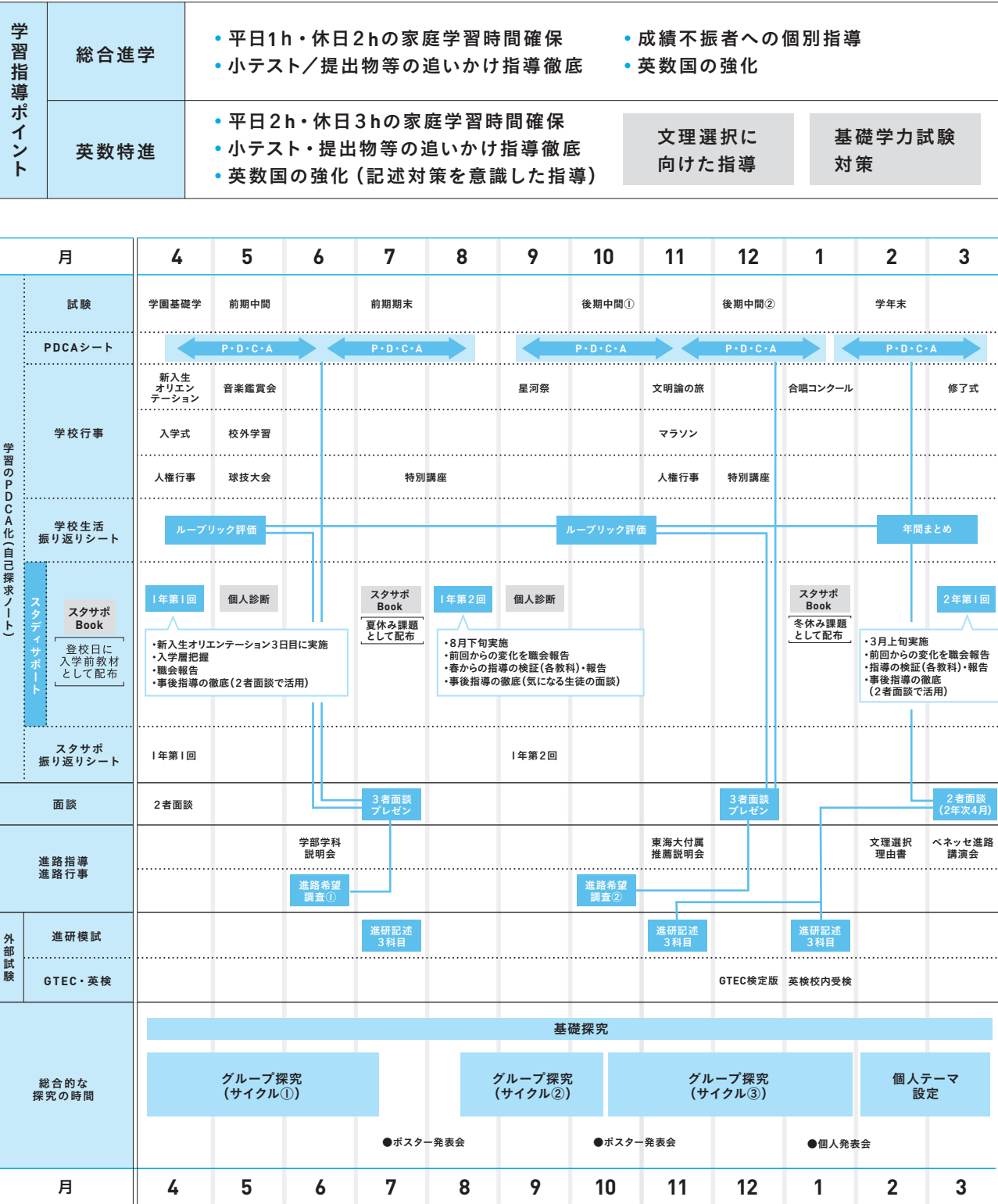
ESDの推進

教科横断的なSDGsの理解に向けた取り組みと実践を通じた、持続可能な社会の担い手の養成

「探究学習」を軸としたアプローチ

あらゆる学問分野への知的好奇心の喚起と、世界のあらゆる現象に対する批判的思考力の育成

● 高校1年生のラーニングマップ





8:20

たくさんの「おはよう!」の声とともに
今日も一日がスタート!

Part of School Life Gyosei

挑戦して、失敗して、笑って、ときどき泣いて。
仲間たちとたくさんの経験を重ねて送る
君だけのストーリーがある。



15:00

体験型の授業や、
友だちとの
グループワークが
学びを深めていく。



LIFE!

| Gyosei Photo Story |

16:00

時間を忘れるほど
夢中になれるものが
見つかる。



10:00

新しい知識が増えていくのって、
わくわくする。



友だちとお喋りして
午後に向けて気分もリフレッシュ。

13:00



18:00

きっと明日も、
今日より楽しい一日になる。



チームを感じる瞬間



「team Gyosei」のもと、いろいろなクラブの人が一丸となって送ってくれる声援が、選手たちの心の支えになっています。

クラブの所属に関係なく、みんなで一つになって応援します。仲間が頑張っている姿を間近に見ることができてとても楽しいです！



クラブの熱い応援

競技大会やコンクールで多くの実績を残してきた仰星のクラブ。チームメイトと互いに技術を高め合い、日常生活やマナー面でも切磋琢磨しながら、高い目標に向けて活動しています。練習の成果を発揮する場には、他のクラブからも大勢の生徒が応援に駆けつけます。選手一人ひとりの努力はもちろんのこと、学校全体が一丸となって送る声援が「強い仰星」を支えています。



仰星のクラブ活動は盛んなだけでなく、とても仲が良かったです！生徒も教員も互いに刺激を与え合い、応援し合って「team Gyosei」を実現していきます。
〈吹奏楽部顧問 藤本先生〉



星河祭

毎年2学期に体育の部と文化の部が一気に開催される「星河祭」。大きなイベントなので、一人ひとりが自分の役割を考えて行動し、みんなで協力して作り上げていきます。星河祭をやり遂げるとまた一つ、団結力が深まります。



中高同じ日に開催するので、「team Gyosei」を体感できる一日になります。来場された方とも一体感を共有でき、素晴らしい時間を過ごせます。
〈ラグビー部顧問 湯浅先生〉



文化の部では、準備や店番を分担・協力し、ひとつのものを作り上げることでクラスの絆が強くなります。中高合同で行うため、学年を越えての交流も深まります。



体育の部は初めて見る競技がたくさんあって迫力があります。生徒だけでなく、先生も一緒になって本気になるのでとっても盛り上がります！



早くから学習習慣が身についたことで
部活動と勉強を両立できました

神戸大学 工学部 建築学科
松本 優大
英数特進コース〈2019年度卒業〉

兄が仰星に通っていた影響から、自分もここで学びたいと思い受験しました。中部では野球部に所属。練習は毎日ありましたが、工夫して勉強する時間を確保し、習慣づけることで成績も上がっていきました。志望大学への合格をめざして中部部の総合進学コースから高校では英数特進コースに進学。より勉学に力を入れるようになりました。高校に入ると勉強の難易度も上がりましたが、中部部で身につけた学習習慣を継続することでクラブ活動と両立。受験期も先生方に直前まで親身にサポートをいただいたおかげで、悔いのない結果を得ることができました。行事の思い出や、卒業した今でも仲の良いたくさんの友人など、多くの宝物を得ることができました。仰星を選んで本当に良かったです。



勉強とクラブ活動の両方に真剣に取り組んだことで充実した学校生活となりました。クラブ活動は中高6年間放送部に所属し、中部部ではNHK主催の大会で3年連続全国大会に出場。学内ではお昼休みの放送をはじめ、全校集会や体育祭といったイベントでの音響準備や照明のセッティングなど、裏方として支えてきました。休み時間に準備をすることが多く、課題や予習をする時間を確保するために早朝の放送室で勉強をしたこともありました。英語が苦手だったのですが、先生の丁寧な指導を受け成績が伸びたことが自信に。勉強もクラブ活動も、自分の行動次第で結果が変わってきます。仰星での6年間を通して、やりたいことに向き合い努力する大切さを実感しました。教育学部に進学したので、英語の教員をめざしてさらに学びを深めていきたいです。

何事にも全力で向き合った経験が
私を成長させてくれた

京都教育大学 教育学部
井上 舞柚
英数特進コース〈2019年度卒業〉



PEOPLE of GYOSEI

仰星の人

卒業生が語る
仰星スクールライフ



家族や身近な人々の
役に立てる人になりたい

京都薬科大学 薬学部
梅田 唯花
英数特進コース〈2019年度卒業〉

中学時代に吹奏楽部の定期演奏会を観て強い憧れを持ち、「ここで私も吹きたい!」という一心で入学しました。クラブ活動だけではなく勉強にもしっかり取り組みたいと、英数特進コースを選択。授業の課題が多く、心が折れそうになったことが何回もありましたが、一生懸命頑張っている仲間の姿を見て、私も負けてられないと気持ちを奮い立たせることができました。勉強もクラブ活動も中途半端にしたいくないという私の気持ちを理解してくださった先生や、応援してくれるクラスの友だちの支えもあり、両立することができたのだと思います。その結果、吹奏楽部ではずっと目標にしていた仰星初の全国大会出場を叶えることができました。現在は薬学部に進学。家族や周りの人の役に立てるよう、資格の取得をめざして勉強中です。

高い意識を持った仲間とともに
続けた努力が、夢を叶えた

同志社大学 文学部
羽場 友亮
総合進学コース〈2019年度卒業〉

仰星での3年間は、サッカー漬けの毎日。高校3年生の冬まで本気でクラブ活動に打ち込める高校は少ないうえに、クラブ活動もしながら一般受験をして志望大学に行きたいという目標を実現できたのは、仰星の環境のおかげだと思っています。サッカー部の練習は厳しかったのですが、高いレベルでの文武両道を掲げ、目標へとまっすぐ進み続ける仲間たちに刺激を受け、頑張りぬくことができました。また、どんなときも全力で応援してくださる先生方のサポート環境も頑張り続けることができた理由の一つです。クラスの雰囲気にもぎやかで、3年間毎日が楽しかったと思えるほど、充実した日々を過ごすことができました。第一志望校に進学することができたので、これからも目標に向けて努力することを忘れず、好きな文学について学びを深めていきたいです。



教育の指針

創立者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになりました。特にデンマークの教育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育に捧げようと決意して「望星学塾」を開設しました。ここに東海大学の学園の原点があります。創立者松前はこの「望星学塾」に右の四つの言葉を掲げました。



創立者
松前 重義

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くとともに、人間、社会、自然、歴史、世界等に対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義についてともに考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。

本学園は、このような創立者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和の取れた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、歩み続けていきます。

若き日に
汝の思想を培え

若き日に
汝の体躯を養え

若き日に
汝の智能を磨け

若き日に
汝の希望を星に託せ

松前重義書

東海大学との連携

充実した進路は、
東海大学の付属校ならではの。

学校法人東海大学は、全国に5つのキャンパス、7つの校舎・フィールドとインターナショナルカレッジを擁する総合大学です。医学部医学科や海洋学部、農学部など、たくさんの選択肢の中から自分の将来に合った学部を選んで進学できることも、東海大学付属校ならではの大きなメリットです。



※上記キャンパス名、学部名等は2022年度からのものです

PICK UP! 特色ある学部・学科を紹介！

工学部 航空宇宙学科 航空操縦学専攻 【湘南キャンパス】

在学中の2・3年次にノースダコタ大学（米国）に留学し、語学研修および飛行訓練を行い、パイロットライセンスを取得できる、国内大学初のアライン養成コースです。



海洋学部 【静岡キャンパス】

日本で唯一、海を総合的に学ぶことができる学部。海洋調査実習船「望星丸」での海洋実習や海洋科学博物館での実習など体験的なカリキュラムが豊富です。



進学実績

国公立大学合格状況 [過去5年間] 〈のべ人数〉

大学名	2017 (32期)	2018 (33期)	2019 (34期)	2020 (35期)	2021 (36期)
京都大学	1				
大阪大学	1	1	1		
神戸大学	1	1	1	1	
大阪教育大学	1				
京都教育大学	1		1	3	2
奈良教育大学			1		
奈良女子大学	1		1	1	1
滋賀大学		1	2		
和歌山大学	4		1		2
三重大学		1			
大阪市立大学	2			1	
大阪府立大学		2	4	1	1
京都府立大学	2				
京都府立医科大学		1			
筑波大学				1	2
神戸市立外国語大学			1		
滋賀県立大学	1	1	1	3	2
奈良県立大学		1	1		1
兵庫県立大学	3				
その他の国公立大学	10	21	10	11	8
合計	28	30	25	22	19

私立大学合格状況 [過去5年間] 〈のべ人数〉

大学名	2017 (32期)	2018 (33期)	2019 (34期)	2020 (35期)	2021 (36期)
東海大学(内部推薦)	44	29	44	46	48
同志社大学	50	23	43	35	22
関西学院大学	16	4	8	9	4
同志社大学	30	27	30	16	18
立命館大学	32	18	13	12	24
京都産業大学	31	27	38	25	30
近畿大学	79	63	58	59	69
甲南大学	5	6	9	6	6
龍谷大学	42	41	53	25	57
大阪工業大学	9	10	7	6	13
関西外国語大学	9	12	8	9	10
京都女子大学	1	5	9	9	9
同志社女子大学	4	8	13	6	5
武庫川女子大学	4	5	6	9	5
大阪歯科大学					1
大阪医科大学			1		1
京都橘大学	5	11	8	28	13
その他の私立大学	232	323	218	235	315
合計	593	612	566	535	650

東海大学進学状況 [過去5年間] 〈実人数〉

学部	2017 (32期)	2018 (33期)	2019 (34期)	2020 (35期)	2021 (36期)
文学部	7	5	4	1	2
文化社会学部	1		1	3	3
観光学部			1		
政治経済学部			3	4	5
経営学部(熊本)				3	5
法学部	5		8	3	3
教養学部			3		3
国際文化学部(札幌)	1	1		2	
理学部	1		2	1	1
情報理工学部(旧 電子情報学部)		1	3	2	
情報通信学部(高輪)			1	2	
工学部	6	11	2	5	3
基盤工学部(熊本)(旧 産業工学部)			1	2	1
海洋学部(清水)	3	1	8	9	7
生物学部(札幌)		1			
農学部(阿蘇)	1	1			1
体育学部	15	7	8	10	13
医学部(伊勢原)	2				
健康学部		1			1
合計	42	29	44	46	48
HTIC	4		2	2	3
合計	46	29	46	48	51

指定校推薦枠

2021年度入試 私立大学・短期大学 指定校推薦枠は約500名ありました。

関西大学	12名	近畿大学	8名
同志社大学	8名	龍谷大学	3名
立命館大学	4名	甲南大学	3名
京都女子大学	3名	武庫川女子大学	2名
摂南大学	9名	関西外国語大学	3名
京都産業大学	4名		

入試情報

入試情報について
詳しくはこちら



■ 入試イベント

新型コロナウイルス感染症予防の観点により、開催方法・開催日時が変更されることがあります。詳細はWEBサイトでご確認ください。

オープンスクール	要予約	10月23日(土)14:00～
英数特進コース イブニング個別相談会	要予約	9月22日(水)18:00～
入試説明会	要予約	第1回11月6日(土)14:00～／第2回11月27日(土)14:00～

星 河 祭 (文 化 祭)

10月2日(土) 12:00～	要予約	10月3日(日) 10:00～	要予約
-----------------	-----	-----------------	-----

■ 入学金・授業料(2021年度実績)

入学金(入学手続時)	220,000円
保護者会・生徒会入会金(初年度のみ)	7,000円
学費(三期分納)	564,000円 ^{※1}
学年積立金(三期分納)	67,200円
その他納付金(三期分納)	60,000円
初年度納付金合計	918,200円

左記以外の諸経費(教材・制服・iPad※2
など):約220,000円

※1 所得により就学支援金等を受給
することができます。

※2 iPadは、米国および他の国々で登録
されたApple Inc.の商標です。

▶ WEBで仰星をCheck!

最新の入試イベント情報やteam Gyosei特別コンテンツなど、
これから受験を考えている方に向けた情報を配信しています。

入試情報サイトは
こちら ▶▶



team Gyosei Special Guideは
こちら ▶▶



校長からのMESSAGE



校長
小寺 建仁

将来、豊かな人生を送れるように、
生徒一人ひとりが成長できる教育を行っています。

本校は高校1983年、中等部1996年の創立以来、東海大学の付属校として「建学の精神」に基づき、「真の文武両道」を体現する高等学校・中等部をめざしてきました。その結果、クラブ活動をはじめ特色ある学校行事、進学指導、GLOBAL教育などさまざまな教育活動が地域の方々からの信頼と評価を得ております。今後も中等部・高等学校・大学の学園連携のスケールメリットと人的財産を最大限に活かし、未来のリーダーを育てていくことが学校の責務だと考えております。

今日の国際社会では環境問題・文化対立・経済危機などグローバル化、ボーダレス化した諸問題が毎日のように語られています。本校では、生徒たち一人ひとりが、今や世界的なキーワードとも言える「SDGs(持続可能な開発目標)」を「自分ごと」として捉え、世界の現状を正しく理解するとともに、地域コミュニティを中心に自分たちができることにチャレンジしていく(Think Globally, Act Locally)姿勢を身につけられるような教育を実践していきます。こうしたことは将来、地球市民として国際社会で貢献できる人材の育成につながるものと信じております。本校では、そのために必要な資質・能力を「チーム仰星10のチカラ(TG10Cs)」として定義し、授業・学校行事・課外活動などを通じて身につけることができるような教育実践を行ってまいります。